

スリナム月間情勢報告
(2024年11月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

11月のスリナムの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- ノルウェーの Argeo 社は、スリナム石油公社と同国の地質調査に関する戦略的パートナーシップ契約を締結。
- 伊 Saipem 社は、58 鉱区のグランモルグ開発における設計・調達・建設・据付（E P C I）業務を受注。
- 国際通貨基金（IMF）は、スリナムに対する拡大信用供与措置（EFF）の第8回審査を終了。IMF 理事会の承認を以て、スリナムは追加で6,130 万米ドルへのアクセスが可能となる。
- 教育・科学・文化省と財務・計画省は、米州開発銀行（IDB）と、3,000 万米ドル相当のパラマリボ都市修復事業及び4,000 万米ドル相当の教育改善事業に対する融資協定を調印。
- スリナムと中国は、両国間の債務再編第1フェーズに合意。これにより、中国に対する2021年までの全ての滞納分及び2022年～2024年の債務並びに利息が再編された。

2 経済

- （6日報道）石油・ガスの探査及び開発に携わるノルウェーの Argeo 社は、スリナム石油公社と同国の地質調査に関する戦略的パートナーシップ契約を締結。
- （15日報道）伊 Saipem 社は、58 鉱区のグランモルグ開発における設計・調達・建設・据付（E P C I）業務を受注。
- （18日報道）社会福祉プログラムの一環で、インドは約425 トンの穀物他食品をスリナムに寄贈。
- （22日報道）国際通貨基金（IMF）は、スリナムに対する拡大信用供与措置（EFF）の第8回審査を終了。IMF 理事会の承認を以て、スリナムは追加で6,130 万米ドルへのアクセスが可能となる。現在までのEFF 支払総額は約5.038 億米ドル。
- （25日報道、26日政府発表）政府と中国アルミニウム社（Chinalco）は、スリナム西部のボーキサイト産業開発に関する覚書に調印。
- （26日報道）米 TDI-Brooks 社は、スリナム沖合4.5 万平方キロメートル

に及ぶ大規模調査を完了し、複数の炭化水素資源が潜在する可能性がある」と発表。

●（２６日、２８日政府発表）教育・科学・文化省と財務・計画省は、米州開発銀行（ＩＤＢ）と、３，０００万米ドル相当のパラマリボ都市修復事業及び４，０００万米ドル相当の教育改善事業に対する融資協定を調印。

●（２８日政府発表）ＲＥＤＤ＋プログラムに基づき、緑の気候基金（ＧＣＦ）は、２０１８年～２０２０年のスリナムの森林減少・劣化に対する取組を評価し、同国に約８，０００万米ドルを拠出予定。

●（２８日報道）ブラジル石油公社（ペトロブラス）は２０２９年までに、効率と排出量削減に重点を置いた海洋石油生産システムを１０基導入予定であり、日量３２０万バレルの生産を目標としている。

３ 外交

●（１１日政府発表）第１４回韓国・カリブ・パートナーシップ・ハイレベル・フォーラムがソウルで開催され、チョン駐北京スリナム大使（日本兼轄）が出席。食糧安全保障のための農業分野における協力について協議された。

●（１８日報道、１９日政府発表）スリナムと中国は、両国間の債務再編第１フェーズに合意。これにより、中国に対する２０２１年までの全ての滞納分及び２０２２年～２０２４年の債務並びに利息が再編された。